

珠海・広州の寺

広州市広東省人民政府が置かれる省都であり、国務院により、5 大国家中心都市に指定されている。広州省のみならず、華南地域全体の経済的な中心である。2010 年の市内総生産は 1 兆 604 億元(約 13 兆円)であり、上海市、北京市に次ぐ第 3 位である。人口は 1,325 万人であり、世界第 18 位である、高速道路網が発達している。広州四大寺院(光孝寺、六榕寺、海幢寺、華林寺)広州の寺は、全体的に古く派手さが無く寺帆来の姿が印象でした、観光の為の寺ではない、拝観料も少額か若しくは無料でした。落ち着いたの在る寺。(雨で大変でした)

普陀寺(珠海) 光孝寺 六榕寺 海幢寺 華林寺 懷聖寺

普陀寺(珠海) 資料は有りません。現住職はアモイの寺 多額の布施により建設中



真新しい立派な山門



石の山号額



天王殿



天王殿の正面には弥勒菩薩



製作途中の四天王まだ剣、琵琶、傘、蛇、色など有りません。



広い境内に鐘楼・鼓楼が建設中



広い境内に大きく立派な大雄宝殿



大雄宝殿・釈迦三尊左右には阿南・迦葉



三世仏



大雄宝殿の両壁には 18 羅漢



大雄宝殿のサイドには鐘と太鼓



立派な木魚



魚梆



雲版



建設中伽藍は大きく これから内装ですか？ 正面には白玉仏



両サイドには大きな建物で宿舎と思われる建物



建設中の材料が数多く並べられていた



光孝寺(こうこうじ) 町の中に有り中国では狭い寺で平地に在りました。光孝寺は中国仏教史上重要な地位を占める寺院で、曇摩耶舎がこの寺で講釈を行って以降、多くの高僧が相次いで宣教に訪れた。南北朝時代には**インドの高僧、智葉三蔵**が訪れ、祭壇に**菩提樹**を植えた。またインドの王子達磨和尚は釈迦仏の衣鉢を寄進し、やはりここで講釈を行った。西暦 749 年、唐の高僧鑑真は日本への 5 度目の渡航に失敗して海南島に漂着した後広州に辿り着き、一春を過ごした。儀鳳元年(西暦 676 年)には高僧慧能がこの寺の菩提樹の下で受戒し、南宗を開き禅宗六祖と称された。五祖弘忍から慧能に衣鉢を与えられ**受け継いだ寺** 767 年、広東省内で最古にして最大の建造物。西漢時代に南越王趙佗の玄孫である趙建徳の住居として創建され、寺名は幾度も更改され、東晋隆安 5 年(401 年)には“五園寺”、唐代には“乾明法性寺”、五代南漢時代には“乾亨寺”、北宋時代には“万寿禅寺”、南宋時代には“報恩広孝寺”と呼ばれたが、明代の 1482 年に“光孝寺”と改称された。境内には東晋時代に建造された大雄宝殿、南朝時代に開拓された。瘞癘塔(えいはつとう)は 7 階建八角形の塔で、高さは 7.8m、各階ごとに八つの神棚が奉られている。唐の儀鳳元年(西暦 676 年)、六祖慧能はこの寺の菩提樹の下で剃髪して僧となり、当時住職であった印宗により頭髪が埋められたことを記念して、この塔が建てられた。中国最古最大の鉄塔建造物で、保存状態も大変よい。光孝寺における最も有名な伝説は、六祖慧能がこの寺で「風幡問答」を行い、南宗禅の開祖となったことである。大雄宝殿と呼ばれる本堂に阿難尊者(あなんそんじゃ)・迦葉尊者(かしょうそんじゃ)の像が納められている。三体は釈迦牟尼仏・文殊菩薩・普賢菩薩。



光孝寺の山門



奥には天王殿



天王殿



天王殿の正面には弥勒菩薩



天王殿の左右には四天王





弥勒菩薩の真裏には韋駄天



天王殿を潜ると右には鐘楼



鐘楼の1階は地藏殿



天王殿を潜ると左には鼓楼



鼓楼1階は伽藍殿？



大雄宝殿



立派な山号額



大雄宝殿には三尊大仏（釈迦牟尼・文殊師利像・普賢菩薩像）



祖殿



祖殿内では信者がお勤めしていました



瘞癘塔



塔の各階と各面には釈迦像



瘞癘塔の説明



釈迦像



智葉三蔵の植えた菩提樹（榕樹）



六祖慧能菩提樹の下で受戒した



六祖慧能の豪華なご厨子



慧能の銅像



韶关南华寺に有る慧能の肉新身像の写真



魚槌



雲版

六榕寺(ろくようじ)

広州市内の六榕路にある六榕寺は、梁の大同三年（537年）に創建され1400年以上の歴史を誇る古寺。広州四大仏教叢林のひとつ。もともとは「浄慧寺」といったが、有名な詩人、宋代の大文豪蘇東波がここを訪れ、榕樹（ガジマル）の樹が生い茂っているのを「六榕」と詠んだので、現名となった。院内には数多くの舍利塔や仏像があるが、高さ57mの「花塔」がひととき目立つ。これは宋代（約千年前）に建てられた九層の舍利塔で、外観は9層で、内部は17層に分かれている。境内にはこのほか碑廊、大雄宝殿、六祖堂、観音殿などの名所があり、大殿内には清の康熙二年（1663）鑄造の巨大な3体銅仏像が安置されているが、それぞれ高さ6m、重さ10トンと言われ、広東最大の古代銅像である。広州ではもっとも古い仏塔である。以前は「千仏塔」と呼ばれていた。塔の上からは広州の市街地が見渡せるとも事ですが、塔には、登れませんでした。

菩提樹と榕樹(ガジュマル)は違う木だが中国では菩提樹も榕樹のうちに入れている。大雄宝殿には光孝寺とよく似た三世仏が祀られている。(雨で大変でした。)



天王殿には六塔の額



天王殿の正面には弥勒菩薩



天王殿の左右には四天王



四天王



9層花塔登れません



雲版



観音殿



観音殿には大きく立派な観音像



信者達がお勤めを



何の宗教ですか（正面の物？）



菩提樹の木の下では白玉仏の座禅



大雄寶殿には萬德莊殿山号額が



大雄寶殿には三世仏



大雄寶殿の左右の壁には十八羅漢の絵像



華林禪寺

創建は西暦 526 年インドから達磨大師が海のシルクロードを超え広州にやってきた際に創建された。著名的な佛教寺院で、荔湾区長寿西路華林寺前街にあり、広州市「四大叢林」の一つである。当年、菩提達摩は今の上下九路の辺り上陸した、中国佛教禪宗の発源人である。華林寺は 1400 年余りの歴史を持ち、かつて達磨祖師が禪宗を広めるため、インドから中国にやってきた時に最初に上陸した場所である。達磨は中国の禪宗の創始者とされている。

当時の名前は『西来寺』、その名のとおり西から来た僧が作った寺である。それ以来唐、宋、元、明の時代を超えて灯火が絶えることはなかったもの、次代時代に衰退する。清代にはいり 1655 年に福建出身の臨濟宗の宗符禪師により復興され、その際に華林禪寺と名前を改めた。

19 世紀に造られた五百羅漢殿。

達磨大師の祖師殿で大師像の頭上には一花五葉（一華開五葉）の額が印象深い。

寺全体は、中国には珍しい密集した伽藍の配置です。何となく、皆様の力で守ってきた寺との印象が強くなりました。昔ながらの素朴な寺という感じ。（雨で大変でした。）



華林禪寺の門前は大変にぎやかな商店街



山門は小さく素朴な山門



側壁には六字の名号が



華林禪寺と書かれている簡単な石門



境内は狭く密集している



門を潜ると直ぐに達磨大師像



五百羅漢堂



五百羅漢堂の入口右手には四天王の一人



五百羅漢堂の左には四天王の一人



狭い入口の五百羅漢堂



羅漢堂の入口正面には弥勒菩薩



布袋様の後ろには韋駄天



奥は広く羅漢像が所狭しとおいでになる



大勢の羅漢達



奥には白玉仏も有りました



三世仏



狭い境内に石塔



置くには功德堂が有りました



功德堂にはたくさんの位牌



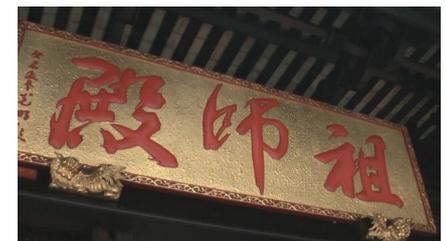
鳩摩羅什の祖師殿で本堂に成りますか



本堂の棟には見事な龍が



祖師殿の4本柱の柱は見事な石の彫り物



祖師殿の入り口には大きな額



祖師殿の右に古い梵鐘



祖師頭上には一花五葉の額

祖師殿左に大分古い太鼓



達磨大師像

御厨子に入った達磨大師



達磨大師像

海幢寺

海幢寺は南華中路と同福中路の間にあり、面積 1.97 万㎡。ここは南漢時「千秋寺」と呼ばれ、後民家になって、明末に佛寺となって、「海幢寺」と称されていた、清康熙初、当時広州市「四大叢林」の一つとなっている。海幢寺には大雄宝殿、大銅鐘、幽冥大鐵鐘、千手観音像碑などの古物を現存する。園内に百年古榕樹 3 本、360 年の鷹爪蘭 1 本、また「猛虎回頭」の石がある。

海幢寺はとっても広い海幢公園の内にある。(雨で大変でした。)



広い公園に塔と古木



広い境内古い塔



豪華な海幢寺山門



豪華な天王殿



天王殿の正面には弥勒菩薩が



見事な四天王



見事な四天王



天王殿の裏には韋馱天



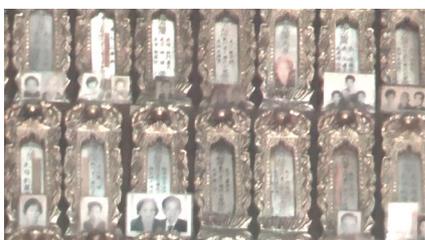
禅宗六祖殿 (慧能)



六祖殿の奥には慧能の木造



海會塔殿



海曾塔殿には沢山の位牌が・・・



大きく立派な大雄寶殿

客殿



ちょっと変ったお顔の三世仏

客殿中は何方様ですか



大雄寶殿の裏堂には観音様ですか

懐聖寺 (イスラム教)

懐聖寺には時間が無く行けませんでした。

中国ではモスクのことを清真寺というのだが、ここは唐代に建設された中国最古の清真寺のひとつであり、礼拝所は1934年に修築されたものだがミナレット(光塔)は古いものだ、というようなことが表に記してあった。敷地内の建物は木造瓦屋根の中国寺院スタイルで、女性用の礼拝所もあるとの事。